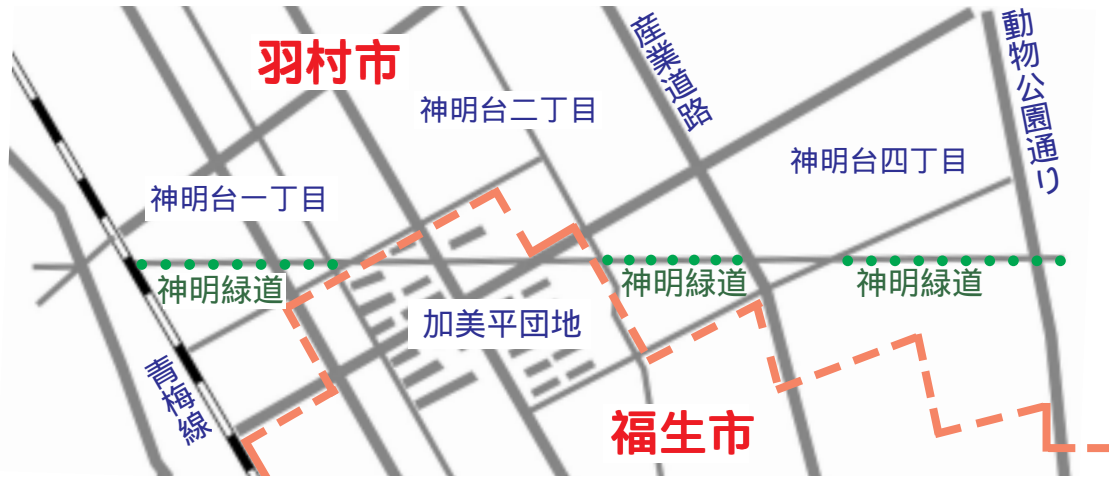


# 神明緑道の整備と羽村山口軽便鉄道の資料収集を

日本共産党羽村市議団 12月定例議会報告

羽村堰で取水された水は江戸時代から明治・大正のころまでは、玉川上水を通して江戸・東京に送られていましたが、現在は水の多くは地下に埋設された羽村・村山線導水管を通して村山貯水池に送られています。地上部分は都有地で羽村市内の神明台地区では神明緑道という遊歩道として、武蔵村山市では自転車・歩行者道などとして整備されています。神明緑道は車が通らず、散歩道として市民に親しまれています。

大正5年から大正13年にかけて当時の東京市は人口増加に対応するため村山貯水池建設と羽村・村山線導水管布設工事を行い、さらになる人口増加に対応し、昭和4年から新たに山口貯水池の建設に着手、これに先立ち昭和3年に羽村・村山線上に砂利運搬軽便軌道の布設工事が行われました。



神明緑道のいわれを知っている人も少なくなり、大正から昭和初期にかけて水道施設の大工事や羽村・村山軽便鉄道についての羽村市としての資料も少ないことから、12月議会で中原議員は神明緑道の整備と関連資料の収集・記録を求めました。

右写真:多摩川から「インクライン」(ベルトコンベアーみたいなもの)で砂利を運び出し、加美平団地あたりで軽便鉄道に積み替えた。



武蔵村山市教育委員会発行「村山・山口貯水池建設工事写真集」より

## 神明緑道の整備を

質問 ゴミを片づけ、植栽を工夫し、神明緑道に関連する羽村・村山線導水管や羽村山口軽便鉄道などの歴史、役割がわかる看板をかけるなど、整備を。  
市長 神明緑道は、東京都水道局から用地を無償で借り上げ、東京都の補助を受け、緑地として整備したもので、羽村市が他の公園と同様に定期的に巡回をし、ゴミの撤去や植木の剪定などを行っており、今後も引き続き、神明緑道の良好な環境整備に努めていく。

## 関連資料の収集と記録を

質問 神明緑道に関連して羽村・村山線導水管や羽村山口軽便鉄道などについて、積極的に資料収集につとめ、記録を残す必要があるのでは。  
市長 詳しい資料などについては、まだ十分に整っていない状況にあるので、教育委員会と連携し、歴史の記録や環境整備に努めていく。教育委員会での研究から、正確な史実が明らかになってきた段階で、神明緑道の看板についても改めて検討していく。



軽便鉄道の軌道:武蔵村山市教育委員会発行「村山・山口貯水池建設工事写真集」より